

# 【収入保険】私の選択・加入者の声



## 「野菜分野の業務拡大へ」

【秋田県大仙市 農事組合法人たねっこ代表  
工藤 修さん（67）】

経営規模＝大仙市小種地域の5集落を集約し、約98%の農地で営農。主食用米約135ヘクタール、大豆約100ヘクタール、水稻の採種栽培、野菜約6ヘクタール（自社の野菜加工センターで冷凍野菜に加工し、販売）

2017年7月と8月に発生した記録的な大雨により、大豆の作付け面積の半分以上の約60ヘクタールの収穫が見込めない状況になりました。

農業共済と収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）に加入していましたが、同じような被害がまた発生したとき、**野菜の生産・加工を含めた経営全体の収入減少を幅広く補償できる収入保険の方が魅力**があると考え、収入保険に移行しました。

私たちの経営の場合は、基準収入が3億円を超えるため、保険料などの負担が不安でしたが、実際には、**水稻共済や大豆共済の掛金、ナラシ対策の積立金を保険料などに充当でき、心配していたほどの負担感はありません**でした。

（農業共済新聞 2019年5月2週号より抜すい）